

平成 26 年（2014 年）9 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2 日目）

平成 26 年 9 月 11 日（木）

割当時間(答弁を除く)	日本共産党	30 分
	自民・無所属・	
	改革の会	20 分
	社民党	15 分
	社大党	10 分
	無所属の会	10 分
	なほ民主	10 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 市長の政治 姿勢について	沖縄のアイデンティティーで県民の心をひとつにと、「オール沖縄」の大同団結を呼びかけて「建白書」をまとめあげ、日米両政府の新基地押しつけをはねかえす先頭に立っている翁長雄志市長の県知事選出馬意思表示は、安倍政権と仲井眞県政にワジワジーしている保革を超えた多くの人々に勇気と希望を与えている。沖縄と日本の政治のあり方を問う県知事選への出馬を熱烈に支持し、心から敬意を表する。ウチナンチュの尊厳、屈しない誇りある選択、沖縄の未来への選択がかかった歴史的な県知事選挙に雄志をもって挑む翁長市長の決意を伺う
		2 米軍基地問題等について	(1) 安倍政権は、仲井眞知事の辺野古埋め立て承認を根拠に、「建白書」を踏みつけ、「民意」を完全無視し、強権的に新基地建設を強行する暴挙にでている。翁長市長の見解を伺う (2) 4 日午後、米海兵隊の AV 8 B ハリアー攻撃機が米軍嘉手納基地に緊急着陸した直後、タイヤ付近から出火した。「一歩間違えれば大惨事」「相次ぐ事故は異常事態だ」と県民の怒りと不安が高まっている。翁長市長の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 安倍政権の暴走政治等について	(3) 安倍首相は、9月3日の内閣改造で「沖縄基地負担軽減担当大臣」を新設し、菅官房長官に兼務させた。「沖縄県民の思いに寄り添い」と言いながら、県民の圧倒的多数の声・民意を踏みつけ、「新基地建設を粛々と進める」と明言する菅官房長官が「負担軽減担当大臣」とはあまりにもいんぎん無礼で言語道断である。県民を愚弄する安倍政権の「負担軽減大臣」新設について翁長市長の見解を問う (1) 安倍政権が今年4月から強行した消費税8%への増税への影響と、来年10月から消費税10%の再増税に突き進もうとしていることに対する見解を問う (2) 安倍政権は、農畜産業、地域経済と暮らしに重大な影響を及ぼす環太平洋連携協定(TPP)交渉に参加をしている。TPP締結で受ける沖縄での影響を問う (3) 安倍政権は、刑法が禁じる賭博場・カジノを日本の成長戦略の目玉と位置づけ、カジノ賭博場の合法化法案を秋の臨時国会で成立を狙っている。この安倍政権に、賭博場・カジノの沖縄への誘致を行っている仲井眞県政への見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 原発問題について	(1) 東日本大震災と東京電力福島原発事故から3年6カ月、被災地・福島は、いまだに13万人もの県民が先の見えない避難生活を余儀なくされている。安倍政権は、この原発事故の教訓から何も学ばず、原発を永久に使い続ける「エネルギー基本計画」を決定し、原発再稼働、原発の世界輸出への暴走を行っている。その中で5月21日、福井地裁は、関西電力大飯原発3、4号機の運転差し止めを命じる歴史的判決を下した。その判決の特徴と原発再稼働への見解を問う (2) 沖縄電力は、原発事故後も将来の小型原発の導入に向けて研究に取り組んでいる。その経過について問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	比 嘉 瑞 己 (日本共産党)	1 国民健康保険事業について 2 子ども・子育て支援新制度について 3 中小企業振興基本条例の具体化について 4 観光振興について	国保財政悪化の原因が、沖縄戦の影響にあることを解明したことや、沖縄県全体の課題として政府への要請行動へとつなげたことについて、那覇市の果たした役割を問う 来年４月からはじまる安倍政権の「子ども・子育て支援新制度」は、就学前の子どもの教育・保育のあり方を大きく変えるものである。那覇市は保育の実施主体としての責務を果たして、待機児童解消のための施策を進めると同時に、「保育の質」を拡充すべきである。見解を問う (１) 那覇市中小企業振興基本条例が制定されて３年が経過した。振興に関する施策の実施状況を検証し、これからの施策展開に反映させるべきである。当局の見解を問う (２) 地域経済の担い手であり、地域社会の支え手でもある小規模事業者への支援は重要である。６月に成立した小規模企業振興基本法の理念を、那覇市の施策にも反映させるべきである。当局の見解を問う 大型クルーズ船の寄港など、外国人観光客の増加がこれからも期待される。観光都市「那覇市」として、ホスピタリティ(おもてなし)の向上や、受入れ体制の整備を強化すべきである。①４カ国語案内板の整備、②通訳ボランティアの拡充、③公衆無線ＬＡＮ(W i - F i)事業の改善などが求められている。対策を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	久 高 友 弘 (自民・無所 属・改革の会)	1 防衛及び安 全保障に対す る市長の政治 姿勢について	(1) 現在、普天間基地の辺野古移設への反対で 政府に立ち向かっておられるが、知事になっ たら辺野古問題以外は、日本政府と協力して 県政を運営していかれるつもりか伺う (2) 普天間を移設せずに危険性を除去する方 法があるか。もし移設するとしたら辺野古以 外に移設先があるか。県外、国外を移設先と するなら何年先に移設できるか、具体的に考 え方を伺う (3) 県政野党 5 団体は 7 月擁立にあたって候 補者に求めていた辺野古埋め立て承認につ いて「承認を撤回し政府に事業の中止を求め る」から「新しい知事は承認撤回を求める県 民の声を尊重し、辺野古新基地は造らせな い。」に修正された。翁長市長は、辺野古埋 め立て承認を撤回し、事業の中止を求める考 えか伺う
		2 公有地売却 について	(1) 首里支所跡地はいつ、誰に、いくらで売却 されたか伺う (2) マンション建設は市の方針に合致するの か伺う (3) 市有地を売却する時、買戻し特約付きで売 買した事例が何件あるか。また、買戻し特約 条項を付ける理由を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	下 地 敏 男 (社 民 党)	1 県知事選挙に臨む市長の決断について 2 辺野古新基地建設について 3 防災行政について 4 教育行政について 5 健康ウォーキング推進事業について	11 月 16 日に予定されている県知事選挙に、翁長市長が多くの団体、組織からの出馬要請を受け、満を持して立ち上がり出馬表明されたことに心から敬意を表し、その決断が辺野古新基地建設中止を求める県民意思を現実のものにすることになる。県民が基地のない平和な島で暮らし美しい自然環境で生きることが、当然の権利である。県知事選挙に挑む翁長市長の決意を伺う 日米両政府は、新基地建設に伴う辺野古沿岸の第 1 水域拡大を県民の激しい反対に遭いながら強行に立ち入り制限を拡大した。設置された臨時制限区域は、違法ではないか。見解を伺う 平成 13 年 4 月に施行された土砂災害防止法による土砂災害警戒区域危険箇所区域の指定について (1) 指定された箇所 (2) そのうち指定済の箇所 (3) 住民説明会は進んでいるか (1) 牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム、歴史博物館等本市の有料施設について小・中学生は無料にしたらどうか (2) 赤土等の流出から海の生態系を守る環境保全体験学習の取り組みを進めたらどうか 10 月 19 日に開催される「ひやみかちなはウォーク 2014」について以下伺う (1) 申し込み期日が迫っているが、これまでの申込者は何名になっているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 動物愛護行政について 7 人事院勧告について	(2) 御城上りなど5コース設定されているが、 ①歩道状況は良好に保たれているか。②トイレ等も十分確保されているか。③緊急時の対応はどのようなになっているか 目の不自由な方を介助し生活を支える盲導犬をフォークのようなもので刺した事件があった。こうした動物虐待の背景にある人命軽視がやがて大きな事件に発展する。本市の動物愛護の取り組みについて伺う 8月7日、人事院は「給与の総合的見直し」として国家公務員の俸給平均2%の引き下げ、さらに高齢者層職員の賃金抑制などを勧告した。公務員の給与制度改悪は地域経済を悪化させることはこれまでの勧告で明らかであり、本市は職員の給与を守る責務がある。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	上 原 快 佐 (社 大 党)	1 市長の政治姿勢について 2 沖縄振興特別推進交付金（以下、一括交付金）について	(1) 政府の辺野古埋め立て強行について伺う (2) 「オール沖縄」体制の構築について伺う (3) 「オール沖縄」体制の今後の展開について伺う (1) 一括交付金の概要について伺う (2) 一括交付金事業の執行率について伺う (3) 一括交付金事業の検証及び市民周知について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（2日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	中 村 圭 介 (無所属の会)	市長の政治姿勢について	市民の関心が高まらなかったなどの理由により延期となっている住民自治基本条例。「住民と議会・行政によるまちづくりの基本姿勢について規定する条例で、情報の公開と行政への住民参画の保障を柱とするものとなっております。」と答弁があるが、「情報の公開と行政への住民参画の保障」の重要性について、市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	前 泊 美 紀 (無所属の会)	市長の政治姿勢について	翁長雄志市長のマニフェスト型政治への取り組みについて、以下伺う (1) 自身のマニフェスト(公約)の達成度と評価を伺う (2) 平成 24 年の市長選挙公約から、以下の進捗を伺う ① 都市発展ビジョンより「第 3 次男女共同参画計画の中間見直しを行い、積極的に女性登用を進めながら、真の男女共同参画社会の実現を図る」ことについて ② 生活充実ビジョンより「保有する全施設資産について、経営戦略的視点から総合的かつ統括的な企画・管理・活用を図るため、ファシリティマネジメントを導入し、新たに『経営戦略室』を設置する」ことについて ③ 同じく「事業評価や政策形成、財政政策等に活用するとともに市民への説明責任を適切に果たすため行政活動の経済波及効果の研究及び有効な活用手法についての調査研究を行う」ことについて (3) 市長マニフェストと総合計画の関係及び連動について、市長の政治家としての見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	清 水 磨 男 (なは民主)	1 W i - F i 化事業について	那覇市のW i - F i 化計画に対して寄せられている問題点と、事業者との契約内容で問題点の解決に向けて係わる点について伺う
		2 行政改革について	(1) 例えば「地域包括支援センター」では業務内容が分かりにくい等の理由で、別の呼称を設けている自治体が複数ある。那覇市として、市民の利便性のために、制度上の名称と愛称が異なるという取り組みに対し、どのように考えるか伺う (2) 千葉市では、法令や条例に基づかない押印を廃止し、署名などによる手続きで市民の利便性を向上させているが、那覇市の対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 26 年 9 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	花 城 正 樹 (なは民主)	1 基地行政(知事選挙)について	県政野党 5 団体と新風会、経済界有志の 3 者は「承認撤回を求める県民の声を尊重し、辺野古新基地は造らせない」という基本姿勢及び組織協定に合意した。改めて、辺野古新基地に対する翁長市長の見解を伺う
		2 歴史的景観保存整備事業(三重城の用地購入)について	(1) 今後のスケジュール (2) 何が期待できるのか
		3 養護学校・支援学級を決定する就学指導について	去る 6 月議会で県に対して再審議を求めるなどシステムの改善について提言したが、進捗を伺う
		4 歩いて楽しい街づくりについて	(1) 寄贈され倉庫に眠っている作品(ブロンズ像、彫刻、絵画等)は何点あるか (2) 上記作品は、活用されているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長